

21

世紀の町の担い手たち

お母さんからのひとことメッセージ



◇瑠希斗(るきと)ちゃんへ

生まれてきてくれてありがとう。
お姉ちゃんと仲良く元気に育ってくだ
さい。

(小野恵理香さん・寺町)



◇夢々(むむ)ちゃんへ

元気に育ってね!

(笹森有紗さん・駅東町)



1月28日(木)、2月26日(金)に国際交流会館
で行われた誕生証書交付式に出席した方々
(平成21年11月・12月届出)



赤ちゃん編



◇玲(れい)ちゃんへ

パパとママのところに生まれてきて
くれてありがとう。元気ですくすく
育ってね。

(鳴海美雪さん・駅前通り)



◇林太郎(りんたろう)ちゃんへ

お姉ちゃんたちと元気にいっぱい遊
んで、大きく育ってね。

(笹森誓子さん・大巻)



◇芽依(めい)ちゃんへ

生まれてきてくれてありがとう。
元気にすくすく、心の優しい子にな
ってね。

(釜渥里奈さん・瀬良沢)



◇心夢(みゆ)ちゃんへ

元気いっぱい大きくなってね。あんな
り泣かないでね。母
かわいい、大好き。父

(市川さゆりさん・妙堂崎)



◇空葉(そら)ちゃんへ

元気に生まれてきてくれてありがと
う。お姉ちゃんお兄ちゃんと一緒に、
たくましく!!

(高杉奈津美さん・木筒)



◇萌李(めりー)ちゃんへ

乗田家へようこそ…
ありがとう。

(乗田輝子さん・間山)

お詫び：先月号の赤ちゃん編でご紹介した、市川心夢(みゆ)ちゃんの名前に誤りがありました。今月号に新たに掲載させていただくとともに、ご関係の皆さまにご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

ク

つるた なんじゃ あるじゃ ロスワードに挑戦



タテ・ヨコの問題を解いていき、A～Eの文字を探してヒントを見つけてね！

ヒント「今月は先生とお別れですね」

①		②			③		④
C				⑥	B		A
⑤						⑦	
				⑧	⑨		
⑩		E					⑪
				⑫		⑬	D
		⑭		⑮			
⑯							⑰

応募方法 ハガキに答え、住所、氏名（未成年の方は保護者名も記入）、年齢と広報に対するご意見や感想などを書き添えてお送りください（月末必着）。イラストなども大歓迎です。正解者の中から、抽選で5名の方に、道の駅つるた・鶴の里あるじゃより「オリジナル米粉パン引換券」をプレゼントします。

【先月号の答 トウキゴリン】

タ	イ	ガ	ー	ノ	ツ	ク
メ	ゴ	イ		ツ	リ	ロ
ノ		キ	ゴ	ウ		ガ
ブ	キ		ロ		ハ	ッ
	エ	リ		バ	イ	キン
ケ	タ		ア	ス	リ	ー
ニ	ン	ジ	ン		ス	リ
ア	ポ		コ	レ	ク	ー

- タテのカギ
- ① 真央ちゃん銀メダル何回オリンピック?
 - ② お金差額「預け」で家に「しりぞ」かんだ
 - ③ 津軽地方では「野」の「う」を「う」呼びます
 - ④ 北海道阿寒湖に住居する天然温泉物といはれ
 - ⑤ 「キャン」を日本語にする
 - ⑥ 以前、むかし
 - ⑦ 感じやすく感傷的で敏感な時期の「う」
 - ⑧ 「」を抜くと眠くなる体の部位は「う」がな
 - ⑨ 郵便物の「う」を除く「う」を「う」向「う」
 - ⑩ 口から飲む「う」は飲食業、ではお尻から入れる「う」は
 - ⑪ 広報のため、町の観光の「う」を紹介している紙面のタイトルは「う」
 - ⑫ 紙の「う」は「う」
- ヨコのカギ
- ① ウルトランで誰が知っている人気怪獣といえは「う」
 - ② 「う」が「う」の訓読みは
 - ③ 鶴小の3年生15年生、新学期の最初に行われる「う」
 - ④ 「う」を「う」
 - ⑤ 「う」を「う」
 - ⑥ 「う」を「う」
 - ⑦ 「う」を「う」
 - ⑧ 「う」を「う」
 - ⑨ 「う」を「う」
 - ⑩ 「う」を「う」
 - ⑪ 「う」を「う」
 - ⑫ 「う」を「う」
 - ⑬ 「う」を「う」
 - ⑭ 「う」を「う」
 - ⑮ 「う」を「う」
 - ⑯ 「う」を「う」

※お詫び 先月号のタテの⑥が表に印刷されていませんでした。お詫び申し上げます。

【2月号米粉パン引換券当選者】

- ・森 美緒さん (みどり町)
- ・ベトナム ウルフさん (胡桃館)
- ・ベトナム おかゆさん (廻壇)
- ・ベトナム しずるさん (みどり町)
- ・ベトナム 応募さん (木筒)

ご応募ありがとうございました

広報文芸

短歌

○川柳鶴田吟社二月句会より

家族一人欠けて萎んだ花がある
成田あき子

冬晴れでじわじわ溶ける雪だるま
齊藤あや子

うんだけで良い子に育ちありがとう
山形ゆきんこ

引き出して息をひそめている種火
工藤りん子

白面でもおだてにのって踊り出す
小野いさむ

役好きは引き際までも見苦しい
竹浪むさし

野に下るよりもうま味の天下り
須藤ふじお

引くことも心得て輪の中にいる
佐藤倫生

円満に退いた握手に泣いている
工藤まさひろ

真冬日の風には負けぬ唐辛子
菊地志樹

○川柳

テレビより又もや暗きニュース見て
痛ましきかな独りつぶやくお
藤田トシエ

千支の寅八度迎うを短歌に詠み先
輩からの賀状届きぬ
佐々木りえ

歩行中けがしたる脚かばひつつ数
カ月過ぎ治らず切ない
清水宏子

雪崩かと紛う屋根より落ちる雪夜
のまどろみ破りてすこし
柴田節子

庭園の雪を除けるおりおりにやさ
しく照らすおほる夜の月
澤田清作

津軽路に地吹雪舞いば野路を往く
人影かすむ冬の一刻
増田勝美

外に出て雪の上にて遊ぶ子らおぼ
ちゃん見ると大きな雪だるま
葛西智恵

明日また「お願いします」「こちら
こそ」年老いわたらの寝に就く会話
棟方文雄

吹雪く夜シベリヤ抑留夢に見て静
かに祈る世界の平和
田村半三

歌詠まぬ日の幾日も常となり老い
たるゆえと歌友と語りぬ
伊藤惣一郎

